

広報 あびこ

◆人口 134,267人 (-1,289人)
 【うち外国人1,291人(-10)】
 男 66,146人 (-696人)
 女 68,121人 (-593人)
 ◆世帯 55,895世帯 (+69世帯)
 12月1日現在()内は対前年同月比

平成24年
 (2012年)
 12月
 16日

市ホームページアドレス <http://www.city.abiko.chiba.jp/> 携帯サイト <http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>
 編集・発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-0127 No.1323 (毎月1日・16日発行)

4月 ▶我孫子市復興計画を策定

東日本大震災後から平成27年度までの復興目標を「市民生活の再建」「生活基盤施設の復旧」「魅力ある住宅地への再生」「災害に対応できる地域づくり」とし、具体的な取り組み方針を示しました。特に被害が集中した布佐東部地区の復興については、平成26年度の完了を目指してまいります。



▲震災直後の千葉電ヶ崎線交差点(布佐)



▲現在

4月 ▶県内初、内部被ばく測定費用の一部助成制度を開始

乳幼児、妊婦、小・中学生に対する内部被ばく測定(ホールボディカウンタ)費用の一部助成制度を他市に先駆け実施しました。7月には対象を高校生まで拡大しました。

5月 ▶有害物質による広域断水

水道の原水となる江戸川から基準値を超えるホルムアルデヒドが検出されたため、我孫子市などへの送水が停止され、昼ごろから午後9時半ごろまで我孫子地区や天王台地区を中心に広い範囲で断水となりました。



6月 ▶認定こども園めばえの森が開園

市内初となる認定こども園「めばえの森」が開園しました。認定こども園は、職員配置数などの基準を満たすことで都道府県知事から認定されるもので、就学前の教育・保育を一貫して提供する新たな制度です。



4月

3・8・9月 ▶我孫子のスポーツ選手が活躍

平井康翔さんがロンドンオリンピックの男子競泳10kmマラソンに出場、中田有紀さんが全国JOCジュニアオリンピックカップ200m平泳ぎで3位、大西葵さんが日本女子オープンゴルフ選手権出場、また福田達也さんがダブルダッチコンテストワールド2012で優勝と、我孫子の若いスポーツ選手が大いに活躍してくれた年でした。



▲平井康翔選手



▲アビスタで行われたパブリックビューイング

2012年の10大ニュース

2012年も残りわずかとなりました。1年を振り返り、我孫子市の10大ニュースをお知らせします。

問 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

8・9月 ▶保育園、幼稚園、小・中学校の除染を完了

8月に小・中学校、9月に保育園・幼稚園の除染が完了しました。いずれの施設も市の独自目標である地上5cmで毎時0.23マイクロシーベルト未満を達成しています。



8月 ▶星野市長、健康都市連合日本支部長に選任

健康づくりに取り組む国際的都市間ネットワークである健康都市連合日本支部長に星野順一郎市長が選任されました。市では6月に「我孫子市歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定し、皆さんの健康をより積極的に推進していきます。



8・10・11月 ▶県外自治体と災害時相互応援協定を締結

神奈川県大和市、栃木県足利市、山形県金山町と災害時相互応援協定を締結しました。これらの自治体とは、災害時の協力のみならず、平時においてもスポーツや文化活動などさまざまな面で交流を図っていきます。

10月 ▶中央学院大学11年連続の箱根駅伝出場決定

10月に行われた予選会で3位に入り、見事箱根駅伝の出場権を獲得しました。第89回箱根駅伝は1月2日(水)午前8時にスタートします。皆さんで応援しましょう。



11月 ▶放射性物質を含む焼却灰の最終処分場の早期提示を環境省に緊急要望

福島原発事故により発生した指定廃棄物(放射能濃度の高い廃棄物)は、国が処理責任者であり、処理場である最終処分場の提示が未だ示されていないことから、5市長(我孫子・松戸・柏・流山・印西市)で「最終処分場候補地を早期に示すこと」と環境省に要望しました。



▲要望を読み上げる星野市長